

新型コロナウイルス感染防止のための龍谷大学「研究活動」にかかる行動指針（第2版）

2020.9.9

レベル	研究活動	研究出張（海外を含む）	研究会等
レベル4	在宅において研究活動を行う。ただし、機器装置・試薬類等の維持管理、実験動植物等の世話など、研究機能の最低限の維持を目的とした、必要最小限の教育職員のみの一時的入構を許可する。	全ての研究出張は、中止または延期する。	全ての研究会等の開催は、中止または延期する。 ・Web会議ツールを活用した研究会等の開催を推奨する。
レベル3	可能な限り在宅において研究活動を行う。ただし、重要かつ緊急に実施すべき実験・研究を目的とした、必要最小限の学内における研究活動を許可する。研究室関係者の学内での滞在時間は可能な限り削減する。 ・学生の入構は原則禁止とする。	出張の可否については、危機対策本部会議の決定に則する。 海外出張については、原則として中止または延期する。	研究会等の開催は、原則として、中止または延期する。 ・Web会議ツールを活用した研究会等の開催を推奨する。
レベル2	感染拡大の防止に最大限の注意をしたうえで、学内での研究活動時間を可能な限り削減する。可能な研究活動は在宅で行うように努める。	流行地域（海外を含む）への出張は、原則として中止または延期する。流行地域（海外を含む）以外への出張は、感染拡大の防止に最大限の注意をしたうえで、行うこととする。 なお、海外出張については、外務省海外安全ホームページの海外渡航情報において、渡航先が「感染症危険情報」のレベル2以上に指定されている場合は、渡航を延期・中止する。また、同情報でレベル1に指定されている場合においても、現地の状況を確認し、渡航予定の変更を検討する。	Web会議ツールを活用した研究会等の開催を推奨する。 ただし、対面での研究会等の開催を希望する場合は、「研究活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき、開催の可否を判断する。
レベル1	感染拡大の防止に最大限の注意をしたうえでほぼ通常通りの活動を行う。	感染拡大の防止に最大限の注意をしたうえで行う。	感染拡大防止に最大限の注意をしたうえで行う。
レベル0	通常通り	通常通り	通常通り
レベルの相当判断をする際に参考とする国・自治体等の基準		<ul style="list-style-type: none"> ・政府による近畿各府県への「緊急事態宣言」の状況 ・近畿各府県の「外出自粛要請」（都道府県を跨ぐ移動自粛を含む）の状況 ・近畿各府県の「大学への施設使用制限」の状況 ・近畿各府県の「イベント開催自粛要請」（大規模イベントの自粛等）の状況 ・近畿各府県の独自指標による基準（例：京都府「注意喚起」の発出等）の状況 ・その他（社会情勢や他大学状況など） 	